

すさまじい逆風にさらされた衆院選で自民党議員はどう戦ったのか。5回目の当選を果たした平沢勝栄衆院議員(63)に、広示から13日間の「戦記」を公開してもらった。

【8月18日(火)】

朝10時から葛飾区内の選挙事務所駐車場で出陣式。立っているだけで汗が噴き出す日差しの中、500人も集まってくれた。1996年の最初の選挙から応援してくれる人がほとんどだ。本当にありがたい。

思えば衆院解散の翌日7月22日から実質的な選挙戦は始まっている。毎日、朝6時30分から公園でのラジオ体操に参加、朝昼夕は

駅頭であいさつ、その合間に演説会、あいさつ回りを繰り返してきた。今日からは夜9時半ごろの駅頭あいさつを追加した。1日4回、駅頭に立つのは96年の初当選以来初めてだ。JR金町駅前夜、「お勤めご苦労様です」と声をかけると、「勤めがないがどうしてくれる」と詰め寄られた。「介護問題に力を入れなければ自民党を応援しない」と厳しい意見もいた。自民党に足りないのは弱者の視点、生活者の視点だと実感した。

【8月20日(木)】 民主党の対抗馬、早川久美子候補は地元葛飾出身で38歳。女性、若さをアピールするためピンクのポロシャツ姿で遊説している。私は、ほぼ毎日午前中は後援者の葬儀に出席するためポロシャツというわけにはいかない。遊説時は

【8月21日(金)】 地元の有権者から「麻生さんの民主党攻撃は見苦しい」と苦情をいただいた。さつそく石原伸晃党幹事長代理の携帯電話に連絡を入れ、「とにかく謝って、今後のビジョンを語るだけにしたほうが良い」と麻生さんへの伝言を託した。夜、石原さんから「細田(博之)幹事長に伝えた」と携帯に返事があった。石原さんは私と同じ考えだとも言っていた。「自民党は自分たちのこと

【8月22日(土)】 街頭で「自民党」と言うたびに票が逃げていくようだ。他候補者の応援にも行けないけれど、党からの応援も不要だ。一部の参院議員が自主的に来てくれるのはありがたい。今日は埼玉県知事の上田清司さんが午後、JR新小岩駅南口での街頭演説に来てくれた。上田さんが民主党衆院議員だった時、拉致問題などで共に活動したのが縁で交流が続いている。上田さんは「自民党は負けでも、勝ってもらわなければならぬ候補者がいる」と、私に代わって訴えてくれた。私もついに、「問題のあった自民党議員はみんな落ちれば良い」と絶叫してしまっただ。

総裁選では石原伸晃さんを推す

【8月24日(月)】 麻生太郎首相の「カネがねえなら結婚しない方がいい」という失言が波紋を呼んでいる。全国で戦う仲間から「どうやって街頭で説明したらいいのか」と悲痛なうめきが次々寄せられる。私も駅頭で「自民党を出るんだったら応援する」と言われ

【8月29日(土)】

朝から真夏のように蒸し暑かった。8時から遊説をスタート。JR金町駅、京成高砂駅、午後はJR新小岩駅。区内フットサル大会が行われている競技場へ行きあいさつ。京成立石、お花茶屋、堀切蒲田、JR亀有駅、小岩駅を回った。夜7時過ぎ、青砥での街頭演説の締めくくりには浅香光代さん。マイク使用禁止の午後8時以降は盆踊り会場を回った後、日付が変わる頃までJR金町駅で口頭であいさつを続けた。

た。しかし、「自民党を一から立て直さなければならぬ」と私にその一翼を担わせていた。私に「お願い」と訴える。自民党が「健全野党」として残らなければ日本の民主主義にとってマイナスだからだ。今日は朝晩のしぎやすい風が吹いていたので助かった。

公開 汗まみれ 地獄の13日間

日記 平沢勝栄

毎日点滴で左腕が紫色になった



ひらさわ・かつえい 1945年岐阜県生まれ。68年東大法学部卒業後、警察庁入庁。後藤田正晴官房長官秘書官、岡山県警本部長などを経て、96年東京17区から初当選。8月20日、新小岩駅北口で頭を垂れる(右)。30日、当選が決まっても笑顔はない。

【8月26日(水)】

警察官僚から初当選した96年と00年の選挙で公明党候補と激しい戦いを展開したため、自公連立政権の今も東京選挙区で私だけが公明党の推薦をもらっていない。ところが連日駅に立っていると、多くの公明党員

の方から「平沢さんに必ず一票入れる」と励ましをいただく。前回及び前々回は白票が多かったが、今回はどうだろうか。05年の郵政解散選挙では、次点の民主党候補に9万票以上の差をつけて当選した。今回は日を重ねるごとに後ろの早川候補の姿が大きくなる。私の選挙区では都議選の結果、自民党員の危機感が高まり総力戦で支持者集めをしてくれた。おかげで組織票はほぼ確保できた。後は無党派層からどれだけ支持を得られるか。

【8月27日(木)】

選挙戦が始まってから自宅に戻るの午前0時近く。毎日、睡眠時間は4、5時間。食事ほとんど車中で、コンビニのおにぎりなどで済ませている。一日の疲れをとるため毎晩、医者の子に点滴を打ってもらっているせい、左腕が紫色になってしまった。

冗談で「クスリを打っているんですか?」と言われ

【8月30日(日)】

9時40分頃、NHKの開票速報で当選確実が出た。選挙事務所には100人近くの支援者が雨の中駆けつけてくれたが、万歳三喝は控えさせていた。まさかここまで自民党が大敗するとは思ってもいなかった。長く苦しい選挙戦に勝つて嬉しい半面、多くの仲間が議席を失った結果を見て、複雑な心境で心の底から喜ぶことはできない。長い間、政権与党の上にあぐらをかいていたツケが回ってきたのだろう。

選挙後は党を立て直すための第一歩として、総裁選があるだろう。私は石原伸晃さんを応援する予定だ。線が細いという人もいるが、経験者で側近に恵まれれば大化けするだろう。構成/本誌・村田久美